

## 農学分野の理論と地域での実践

日時 2019年12月12日(木) 18:30 ~ 20:30 18:15より受付

会場 市民交流プラザふくちやま 3階 視聴覚室  
〒620-0045 京都府福知山市駅前町 400 番地 TEL:0773-22-9551

### 第1部

#### 〈農〉の現在と未来

福知山人・丹波人は農業には見向きもしない!? 長田野工業団地があるからなのか? 取るに足りない存在だからなのか? 儲からないからなのか? 福知山・丹波は歴史的にも農業にはあまり関心をもたない地域のようなのだ!?

グローバル化が進み食料自給率は低下し、農地は荒れ、農業の担い手は減少・高齢化が進む。農村から人が消えて消滅寸前の村がある。このような流れはいつまで続くのか。歯止めはかかるのか、かけられるのか。〈農〉の現在と未来を考える。

#### 講師プロフィール

東京大学大学院農学系研究科修了(農学博士)。修了後、国立国会図書館・調査及び立法考査局に17年間、東京農工大学・農学部にて11年間、そして再び国立国会図書館・同局に専門調査員として4年間勤めました。その後、早稲田大学・招聘研究員や農政調査委員会・客員研究員をへて、2016年4月から現職。

#### 講師



福知山公立大学 地域経営学部  
教授 矢口 芳生

### 第2部

#### 教育民泊(少人数分宿型教育旅行)と農山漁村IJU者

グリーンツーリズム等の一環として「教育民泊(小人数分宿を伴う教育旅行)」の受入が全国各地で取り組まれ始めてから既に20年近く(受入先進地の開始年:長野県飯田市等2001年・沖縄県伊江村2003年・北海道長沼町2005年)が経過しているが、教育民泊の受入後に農山漁村地域へ移住(IJU)する動きが以前から一部のメディア等で散見されていた。これに関する全国調査(実施:2019年2~4月)の結果から政策的含意について考察する。

#### 講師プロフィール

1993年に筑波大学大学院修士課程環境科学研究科を修了後、農林水産省の財団職員として都市農村交流関係の業務に携わりながら、少人数分宿型教育旅行等の宿泊先として注目されている「農山漁村民泊」について研究。2010年に東京農工大学大学院博士課程連合農学研究科を修了後、2011年に成美大学准教授として福知山へ「Iターン」。2016年から現職。

#### 講師



福知山公立大学 地域経営学部  
教授 中尾 誠二

入場料無料  
定員45名

申し込み・お問合せ 福知山公立大学 市民学習・キャリア支援センター

TEL:0773-24-7151 FAX:0773-24-7152

Email:kita-re@fukuchiyama.ac.jp

※お申し込みの際は氏名・住所・連絡先をお伝えください。

〒620-0886 京都府福知山市字堀 3370 福知山公立大学 2号館 1階 Kita-re  
<http://www.fukuchiyama.ac.jp/kitare/>



**Kita-re**